

<b>授業科目名</b> <英訳>		フィールドワーク Fieldwork		<b>担当者所属・職名・氏名</b>		医学研究科 教授 中山 健夫 医学研究科 教授 小杉 眞司 医学研究科 教授 松田 文彦 医学研究科 准教授 田原 康玄 医学研究科 准教授 岩隈 美穂 医学研究科 講師 高橋 由光					
<b>配当学年</b>	専門職	<b>単位数</b>	2	<b>開講年度・開講期</b>	2016・ 通年集中	<b>曜時限</b>	開講日注意	<b>授業形態</b>	実習	<b>使用言語</b>	日本語及び英語
<b>[授業の概要・目的]</b>											
<p>京都大学医学研究科と滋賀県長浜市とは、0次予防健康づくり推進事業の一環として、遺伝子解析を含むコホート研究（ながはま0次コホート）を行っています。2007～2010年度に実施したベースライン調査で1万人余りの成人市民をリクルートし、2012年度から5年計画で同じ1万人を対象としたフォローアップ調査を実施しています。ながはま0次コホートは、医学研究科が総力を挙げて取り組むコホート研究であり、本専攻においても、社会健康医学の基盤であるフィールド研究を実際に学ぶ場として、大学院生に履修を強く推奨しています。</p> <p>この実習は、ながはま0次コホートのフォローアップ調査（0次健診）への参加と、その前後の研修で構成されます。このうち前者については、実際に0次健診に参加し、生活習慣や病歴等に関する質問調査や各種生理学的検査を通して、フィールドでのデータ収集の実際を学びます。併せて、地域保健の現状や問題点について、最前線で取り組んでいる自治体の担当保健師から実情を学びます。0次健診を始め、事業の全ては市民団体の多大なる支援を受けて実施しており、健康づくりに関する一連の市民活動についても学ぶことで、市民の視点に立った地域保健についても学習します。</p> <p>2016年度の0次健診は、9～1月にかけて20日間程度予定されています。履修者は、5～6日間健診に参加するようにしてください。なお、事業の状況によっては、予定が変更になることもあります。</p>											
<b>[到達目標]</b>											
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域における疫学研究の実際を学ぶ。</li> <li>・地方自治体が行っている地域保健について学ぶ。</li> <li>・地域の関係者（研究協力者、自治体、市民団体）とのコミュニケーションを通して、信頼できる情報を得るための方法、個人情報保護、長期にわたる信頼関係の在り方を学ぶ。</li> </ul>											
<b>[授業計画と内容]</b>											
<p>第1回 4月8日4限 オリエンテーション（中山・高橋）  第2回 別途指定 ながはま0次健診でのフィールドワーク作業の説明（田原・高橋）  第3-14回各自指定 フィールドワーク（0次健診への参加）  第15回 別途指定 総括・ディスカッション</p>											
<b>[履修要件]</b>											
日本語でのコミュニケーションが可能であること											
----- フィールドワーク(2)へ続く ↓↓↓											

## フィールドワーク(2)

### [成績評価の方法・観点及び達成度]

講義、実習への積極的な参加（90%）およびレポート（10%）

### [教科書]

なし

### [参考書等]

#### (参考書)

なし

### [授業外学習（予習・復習）等]

フィールド（滋賀県長浜市）で実際の健診活動に携わることを中心とする。予習は特に必要ないが、実習に基づくレポートを復習と位置付ける。

### (その他（オフィスアワー等）)

- ・第1回、第2回は必ず出席してください。(欠席の場合は要事前連絡)
- ・0次健診への参加日は、各自のスケジュールを調整のうえ個別に指定します。

人間健康科学系専攻学生の受講可否：若干名（希望者は事前に連絡してください）

※オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。